

学習支援サービス

ラインズ

eライブラリ[®]
アドバンス

学校設定担当者用 **かんたん運用ガイド**

C4th連携版

お問合せはラインズ ヘルプデスクまで

先生用フリーコール **0120-49-7130**
(平日 9:00-17:00 携帯電話可)

先生用 F A X **03-6861-6006**

先生・保護者用メール **el-help@education.jp**

先生サポートサイト

<https://support.education.ne.jp/ela/ela2020.html>

※保護者様からのお電話での問い合わせは受付しておりません。

※先生サポートサイトはパソコン用サイトです。

通常版の設定マニュアルなどが掲載されていますので、ご注意ください。



目次

必ずお読みください

Chapter.1 先生／児童生徒／学校管理者メニュー

1.1	先生メニュー	4	eライブラリ先生
1.2	児童生徒メニュー	4	eライブラリ児童生徒
1.3	学校管理者メニュー／利用規約の承諾	5	学校管理者

Chapter.2 各種設定をする

2.1	教科書を設定する	6	eライブラリ先生
2.2	学期期間を設定する	6	学校管理者
2.3	学習メモ機能を設定する	7	学校管理者
2.4	コミュニケーション機能を設定する	7	学校管理者
2.5	プリント教材（オプション）の解答表示を設定する	7	学校管理者
2.6	家庭学習サービスを設定する	8	学校管理者
	家庭版 児童生徒（先生）メニューを開く	8	学校管理者
	ダウンロード学習（オフライン）を利用する	8	学校管理者
2.7	保護者サービスを設定する	9	学校管理者
2.8	学校管理職（教育委員会）機能を設定する	9	学校管理者

Chapter.3 先生・児童生徒アカウントを確認する

3.1	先生アカウントのパスワードを変更する	10	学校管理者
3.2	児童生徒アカウントを確認する	11	eライブラリ先生
3.3	児童生徒ID、パスワードを変更する	11	eライブラリ先生
3.4	児童生徒による編集制限を設定する	12	eライブラリ先生
3.5	IDカードを印刷する	12	eライブラリ先生
3.6	SSO連携を設定する	13	学校管理者
3.7	ログイン方式を設定する（SSO連携しない場合のみ）	14	学校管理者

本冊子をご覧になる前にお読みください。

- 本文中の  マークは、利用する上でのポイントや解説などを紹介しています。
- 本文中の  マークは、利用する上での注意点を説明しています。
- 最新の推奨環境は、eライブラリのトップメニュー下段の【推奨環境】をご覧ください。
- 本冊子に掲載された画像・内容等は開発中またはサンプルのものです。予告なく変更になる場合がありますので、ご了承ください。

※C4thの名称は株式会社EDUCOMの登録商標です。

必ずお読みください

本冊子は、ラインズeライブラリアドバンス（以下、eライブラリ）**C4th連携版 学校設定担当者用の管理マニュアル**です。**児童生徒および先生のアカウント情報の管理は、C4th側で一元化されます。**そのため、eライブラリの画面や機能が通常版の画面とは一部異なりますので、ご注意ください。アカウント情報に関する設定（下記参照）は、**C4thで設定を行い、翌朝7時頃にeライブラリに反映されます。**

なお、アカウントの管理や家庭学習サービスの利用については、教育委員会が利用方針を定めている場合があります。各教育委員会の方針に従ってご利用ください。

■C4thからのみ行える設定

○学級関連

- ・学級の作成
- ・学級の名称変更

○児童生徒アカウント関連

- ・児童生徒アカウントの作成
- ・児童生徒アカウントの氏名、表示名、学年、クラス、出席番号の設定

○先生アカウント関連

- ・先生アカウントの作成
- ・先生アカウントの氏名、表示名の設定

※新年度移行に伴う年次更新は、C4thで設定すれば、eライブラリで行う必要はありません。

児童生徒メニューでできること



- 先生からの指示（課題）
- 自由学習
（おさらい、単元学習、タイルマップ学習、
テスト対策、テーマ学習）
- ふりかえり
（成績の確認、先生との連絡）
- ライブラリ



各種操作方法については、
右記の二次元コードからご覧いただけます。 児童生徒メニュー

先生メニューでできること



- 児童生徒への課題の出題
- 児童生徒の学習履歴確認
- 児童生徒とのコミュニケーション
- 児童生徒アカウントの確認
- IDカード印刷
- 教科書設定



各種操作方法については、
右記の二次元コードからご覧いただけます。 先生メニュー

Chapter. 1

先生／児童生徒／学校管理者メニュー

eライブラリには、先生が学習履歴確認や課題を出題する「先生メニュー」、児童生徒が学習で利用する「児童生徒メニュー」と、eライブラリ全体の設定などを行う「学校管理者メニュー」があります。

1.1 先生メニュー

<https://ela.education.ne.jp/teachers>

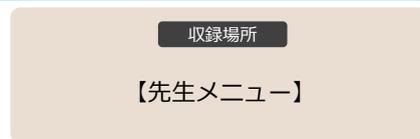
■ 表示方法

- ① 先生メニュー（学校版）のURLに接続します。
- ② 学校コード・先生ID・パスワードを入力し、ログインします。

※学校コードはアカウント一覧表（P.5）に記載されています。

※先生ID・パスワードは、学校管理者メニューでご確認ください。

※SSO(シングルサインオン)、学校コード省略方式を採用の学校は、上記URLとは異なります。



▲ 先生 ログイン画面

■ 先生メニュー

1.2 児童生徒メニュー

<https://ela.education.ne.jp/students>

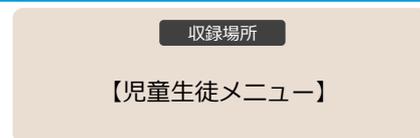
■ 表示方法

- ① 児童生徒メニュー（学校版）のURLに接続します。
- ② 学校コード・児童生徒ID・パスワードを入力し、ログインします。

※学校コードはアカウント一覧表（P.5）に記載されています。

※児童生徒ID・パスワードは、先生メニューでご確認ください。

※SSO(シングルサインオン)、学校コード省略方式を採用の学校は、上記URLとは異なります。



▲ 児童生徒 ログイン画面

■ 児童生徒メニュー

1.3 学校管理者メニュー

<https://ela.education.ne.jp/admins>

収録場所

【学校管理者メニュー】

■ 表示方法

- ① 学校管理者メニューのURLに接続します。
 - ② 学校コード・学校管理者ID・パスワードを入力し、ログインします。
- ※学校コード・学校管理者ID・パスワードは、アカウント一覧表（下記）に記載されています。

▲ 学校管理者 ログイン画面

■ 利用規約の承諾

「学校管理者メニュー」に初めてログインした際に、「利用規約」が表示されます。すべてお読みいただき、[承諾]してからご利用ください。

▲ 学校管理者 利用規約

承諾しなくても、先生／児童生徒メニュー等、その他のサービスはご利用いただけます。



承諾処理が完了するまでは、先生メニューに利用規約の承諾を求めるメッセージが表示されます。

■ 学校管理者メニュー

学校管理者メニューでできること



- 先生アカウントの管理 (ID・パスワード)
- 家庭学習サービス・保護者サービスの設定
- SSO連携の設定など各種設定

▲ 学校管理者メニュー

■ アカントー覧表

- アカントー覧表は、ご利用開始時にデータ納品しています。
- アカントー覧表に記載されている学校管理者用初期パスワードでログインできない場合は、学校でパスワードを変更されており、ヘルプデスクでお調べすることができます。初期パスワードに設定を戻す必要がございますので、ヘルプデスクまでご連絡ください。
- アカントー覧表が見つからない場合は、ヘルプデスクまでご連絡ください。

▲ アカントー覧表

Chapter. 2

各種設定をする

ここでは、eライブラリの運用に関する各種設定をご紹介します。
ドリル学習や学習履歴に関わる設定になりますので、ご検討の上、設定してください。

2.1 教科書を設定する

教科書設定を変更する際は、年度初め（1学期開始前）に設定することをお勧めします。

収録場所

【先生メニュー】

▶ 【eライブラリの設定】

- ① 先生メニュー → [eライブラリの設定] → [教科書設定] を選びます。
- ② [小学校教科書設定] または [中学校教科書設定] を選びます。
- ③ 各教科を学年毎に設定します。
- ④ [設定] を選びます。

📅 年次更新について

前年度設定している教科書会社がそのまま引き継がれます。

前年度の教科書設定から変わらない場合は、特に作業は必要ありません。



契約期間中、何度でも変更はできますが、学習履歴が表示されなくなることがあります。

また、[学習指示]で課題出題中に変更した場合、児童生徒側でエラーになる可能性があります。

▲教科書設定

2.2 学期期間を設定する

学期の開始日・終了日を設定すると学習履歴などを学期ごとに確認できます。初期値のままでもご利用いただけます。

収録場所

【学校管理者メニュー】

▶ 【年度別設定】

- ① 学校管理者メニュー → [年度別設定] を選びます。
- ② [年度][学期設定]各学期の[開始日]と[終了日]を選びます。
- ③ [登録]を選びます。

📅 年次更新について

学期設定は、前年度の設定に1年加算して引き継がれます。
年度初めには、学期の開始日と終了日を確認しましょう。

▲年度別設定

2.3 学習メモ機能を設定する

学習メモ機能は、ドリル学習中に途中式などを画面上に自由に書くことができる機能です。

収録場所

【学校管理者メニュー】

▶【学習メモの設定】

ドリル教材にある「学習メモ」を児童生徒に使用させるか・させないかの設定をします。初期値は[使用する]です。[使用しない]に設定すると、[学習メモ]ボタンがグレーアウトします。

- ① 学校管理者メニュー → [学習メモの設定] を選びます。
- ② [使用する] または [使用しない] を選びます。
- ③ [変更] を選びます。

ホーム ● 学習メモの設定
学習メモ設定

学習メモ 使用する 使用しない

▲ 学習メモの設定

2.4 コミュニケーション機能を設定する

コミュニケーション機能は、教室から離れた場所にいる児童生徒とメッセージのやり取りができます。

収録場所

【学校管理者メニュー】

▶【コミュニケーションの設定】

コミュニケーション機能を児童生徒に使用させるか・させないかの設定をします。初期値は[使用する]です。[使用しない]に設定すると、コミュニケーションが非表示になります。

- ① 学校管理者メニュー → [コミュニケーション設定] を選びます。
- ② [コミュニケーション] の [使用する] または [使用しない] を選びます。
- ③ [変更] を選びます。

ホーム ● コミュニケーションの設定
コミュニケーション設定

コミュニケーション 使用する 使用しない

児童生徒にクラスメイトのメダル獲得状況を通知 通知する 通知しない

▲ コミュニケーションの設定

2.5 プリント教材の解答表示を設定する

オプション【プリント教材】をご契約の場合、プリント教材のアイコンが表示されています。

収録場所

【学校管理者メニュー】

▶【表示設定・運用モード】

プリント教材の「解答」を児童生徒に表示するか・しないかの設定をします。初期値は[表示する]です。[表示しない]に設定すると、[解答]ボタンが非表示となります。

- ① 学校管理者メニュー → [表示設定・運用モード] を選びます。
- ② [児童・生徒の解答プリント] の [表示する] または [表示しない] を選びます。
- ③ [変更] を選びます。

児童・生徒の解答プリント 表示する 表示しない

▲ 表示設定・運用モード設定

2.6 家庭学習サービスを設定する

家庭学習サービスを利用するための接続設定をします。

収録場所

【学校管理者メニュー】

▶ 【家庭学習サービスの設定】

「家庭学習サービス」は、児童生徒が自宅のパソコンやタブレットからインターネットに接続して、eライブラリを使用できるサービスです。

学習の結果は学校版と統合(同期)され履歴として残り、継続的な学習ができます。

- ① 学校管理者メニュー → [家庭学習サービスの設定] を選びます。
- ② [家庭学習サービス]の[使用する]または[使用しない]を選びます。
- ③ [変更]を選びます。

初期値は [使用しない] です

- 家庭版学校コードは「2から始まる」11桁の数字です。
- ログインID・パスワードは、学校版と共通です。
- 家庭版の学校コードと案内配布文書は、先生メニュー [eライブラリの設定]からも確認できます。



▲家庭学習サービスの設定

家庭版 児童生徒（先生）メニューを開く

【家庭版】児童生徒 接続先URL <https://ela.kodomo.ne.jp/students>

【家庭版】先生 接続先URL <https://ela.kodomo.ne.jp/teachers>

先生メニュー → [eライブラリの設定]にある個人情報を含む内容は、家庭版では利用できません。

■ 家庭版の表示方法

- ① [家庭学習サービスの設定]に表示されたURLに接続します。
- ② 2から始まる学校コードとログインID・パスワードを入力してログインします。



▲【家庭版】児童生徒 ログイン画面



▲【家庭版】児童生徒メニュー

ダウンロード学習（オフライン）を利用する

ダウンロード学習（DL学習）は、各端末にアプリをインストールして利用するサービスです。ドリル問題や解説教材を端末にダウンロードすることで、家庭の通信環境に関係なくオフライン学習が可能で、タブレットを使った持ち帰り学習にも最適です。

詳しくは、先生サポートサイト> 家庭で使う【ダウンロード学習 使い方ガイド】をご参照ください。



ダウンロード学習アプリでは、「1から始まる学校コード」の入力が必要です。

2.7 保護者サービスを設定する

保護者サービスを利用するための接続設定は、家庭学習サービスを「使用する」にします。

収録場所

【学校管理者メニュー】

▶【家庭学習サービスの設定】

「保護者サービス」は、保護者が子どもの学習状況や学習に取り組む姿勢をリアルタイムで確認いただけるサービスです。また、学校から保護者に対して、連絡を配信できます。

- ① 学校管理者メニュー →[家庭学習サービスの設定]を選びます。
- ② [家庭学習サービス]の[使用する]を選びます。
- ③ [保護者サービス]の[使用する]または[使用しない]を選びます。
- ④ [変更]を選びます。

家庭学習サービス設定

家庭学習サービス 使用する 使用しない

保護者サービス 使用する 使用しない

※保護者サービスを「使用する」に設定すると、児童・生徒自身のパスワードの編集を無効にするように設定が行われます。
※保護者サービスを「使用しない」に設定変更しても、上記の編集設定は「許可する」のままとなりますので、お手紙でのご指導での設定の見直しをお願いします。
(先生ホーム・eライブラリの設定・クラス/児童・生徒の設定・児童・生徒による編集制限より設定のご確認・ご変更いただけます。)

変更

【家庭学習サービス】の利用には、以下の学校コードが必要です。
学校コード (家庭学習用) : 2 XXXXXXXXXX

※学校コードは学校ごとに異なります。eライブラリ契約校に所属する先生・児童生徒専用のサービスです。

接続先アドレス

生徒用: https://ela.kodomo.ne.jp/students
先生用: https://ela.kodomo.ne.jp/teachers
保護者用: https://ela.kodomo.ne.jp/parents

ご家庭向けご案内文書

- ・ご家庭向けご案内文書 (Dカード貼付)
- ・ご家庭向けご案内文書 (差し込み印刷) ※差し込み印刷
- ・家庭学習サービスのご案内

保護者サービスご案内文書

- ・保護者サービスアカウント登録について (Word文書)
- ・保護者サービス使い方ガイド (保護者編)

配布文書は先生サポートサイトにも掲載しています。

▲家庭学習サービスの設定

保護者サービスを[使用する]に設定すると、先生メニュー →[eライブラリの設定]→[児童生徒による編集制限]の【パスワードの編集】が【許可する】に設定されます。

2.8 学校管理職(教育委員会)機能を設定する

学校のログイン回数などのeライブラリ利用データを、教育委員会に提供するかどうかの設定です。

収録場所

【学校管理者メニュー】

▶【学校情報・ログイン方式】

▶【利用状況提供の設定】

「学校管理職機能」は、学年・クラスのログイン回数合計や一人当たりのログイン回数、学習の取り組み状況などの利用状況を、グラフやCSVファイルで確認できます。

「教育委員会機能」は、自治体全校・小学校全校・中学校全校・小中一貫校全校、各校のログイン回数合計や学習の取り組み状況、児童生徒アカウントの一括登録や一括教科書設定、SSO連携一括設定などができます。

- ① 学校管理者メニュー →[学校情報・ログイン方式]→[利用状況提供の設定]を選びます。
- ② [利用状況提供の設定]の[提供する]または[提供しない]を選びます。
- ③ [変更]を選びます。

利用状況提供の設定

利用状況提供の設定 提供する 提供しない

※「提供しない」に設定すると、教育委員会機能にeライブラリの利用状況が提供されません。
また、学校管理職機能も利用できなくなります。

変更

▲利用状況提供の設定

初期値は【提供する】です

先生サポートサイト▶

[提供しない]に設定した場合は、学校管理職機能と教育委員会機能が利用できません。
※詳しくは、先生サポートサイト>設定マニュアルに掲載の各マニュアルをご覧ください。
C4th連携版は、教育委員会機能でも名簿更新はできませんので、ご注意ください。



【学校管理職機能 使い方ガイド】はこちら 【教育委員会機能 使い方ガイド】はこちら

先生・児童生徒アカウントを確認する

eライブラリの先生・児童生徒アカウントは、C4thの登録情報から自動発番されます。自動発番されたアカウントを変更したい場合の変更方法をご紹介します。

先生および児童生徒アカウント情報の管理は、C4th側で一元化されています。

3.1 先生アカウントのパスワードを変更する

eライブラリの先生IDを確認し、パスワードを変更できます。
先生アカウントの新規作成・編集は、C4th側で行ってください。

収録場所

【学校管理者メニュー】

▶【先生アカウントの設定】

一つずつ先生アカウントのパスワードを変更する

- ① 学校管理者メニューにログインします。
- ② [先生アカウントの設定]を選びます。
- ③ 変更する先生アカウントを選びます。
- ④ パスワードを変更し、[変更]を選びます。

▲ 先生の追加



先生アカウントの新規作成や、氏名/表示名/担当学年/クラス/状態の編集は、eライブラリ側ではできません。新規作成・編集したい場合は、**C4th側で行ってください。**



先生自身でパスワードを編集する

先生メニュー → [eライブラリの設定] → [先生アカウントの設定]から、パスワードを各自で編集できます。

一括で先生アカウントのパスワードを変更する

- ① 学校管理者メニュー → [先生アカウントの設定]を選びます。
- ② [ファイル出力]を選び、CSVファイルを保存します。 ※上書き保存はしないでください。
- ③ ②で保存したCSVファイルの**パスワード**を編集します。
※パスワード（D列）以外は編集しないでください。
- ④ [名前を付けて保存]で、CSV(コンマ区切り)の形式にして保存します。
- ⑤ [ファイル入力]を選び、[ファイルを選択]で保存したCSVファイルを読み込みます。
- ⑥ [登録]を選びます。



先生アカウントの新規作成や、氏名/表示名/担当学年/クラス/状態の編集は、eライブラリ側ではできません。新規作成・編集したい場合は、**C4th側で行ってください。**

	A	B	C	D	E	F	G
1	#ID	氏名	表示名	パスワード	状態	担当学年	担当クラス
2	100001	校長	校長	XXXXXXXX	1		
3	100002	先生1	先生1	XXXXXXXX	1	1	1
4	100003	先生2	先生2	XXXXXXXX	2	2	1
5	100004	先生3	先生3	XXXXXXXX	1	3	1
6							

▲ ファイル例

ID (A列) は編集しないでください。

【パスワードを編集する】
新しいパスワード
(半角英数字8~20文字)を入力します。

3.2 児童生徒アカウントを確認する

eライブラリの児童生徒IDとパスワードを確認します。
児童生徒アカウントの新規作成・編集は、C4thで行ってください。

収録場所
【先生メニュー】
▶【eライブラリの設定】

- ① 先生メニュー → [eライブラリの設定] を選びます。
- ② [クラス/児童・生徒の設定] → [児童・生徒アカウント一覧] を選びます。
- ③ 確認する児童生徒の学年・クラスを選びます。



▲クラス/児童・生徒設定

3.3 児童生徒ID、パスワードを変更する

eライブラリの児童生徒IDとパスワードを変更できます。
児童生徒アカウントの新規作成・編集は、C4thで行ってください。

収録場所
【先生メニュー】
▶【eライブラリの設定】

一つずつ児童生徒ID、パスワードを変更する

- ① 先生メニュー → [eライブラリの設定] を選びます。
- ② [クラス/児童・生徒の設定] → [児童・生徒アカウント一覧] を選びます。
- ③ 変更する児童生徒の学年・クラスを選び、変更する児童生徒の[編集]を選びます。
- ④ ログインIDあるいはパスワードを変更し、[登録]を選びます。

一括で児童生徒ID、パスワードを変更する

[児童・生徒アカウント一覧]の[学年]の[全学年(ファイル入出力用)]や[クラス]の[全児童・生徒]を選ぶと、選択した全学年または学年全体のファイルを出力できます。人数が多い場合は、クラスごとに作業してください。

- ① 先生メニュー → [eライブラリの設定] を選びます。
- ② [クラス/児童・生徒の設定] → [児童・生徒アカウント一覧] を選びます。
- ③ 変更する児童生徒の学年・クラスを選びます。
- ④ [ファイル出力]を選び、CSVファイルを保存します。 ※上書き保存はしないでください。
- ⑤ ④で保存したCSVファイルの**希望ID**または**パスワード**を編集します。
※希望ID (B列)・パスワード (E列) 以外は編集しないでください。
- ⑥ [名前を付けて保存]で、CSV(コンマ区切り)の形式にして保存します。
- ⑦ [ファイル入力]を選びます。
- ⑧ [一括自動設定]の必要項目を選びます。
- ⑨ 「ファイル選択」の[参照]を選び、作成したCSVファイルを開きます。内容が画面に表示されます。
- ⑩ [登録]を選びます。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I
1	登録済ID	希望ID	氏名	表示名	パスワード	状態	学年	クラス	出席番号
2	20220005	20220005	じどう5	じどう5		1	1	1	1
3	20220006	20220006	じどう6	じどう6		1	1	1	3
4	20220007	20220007	じどう7	じどう7		1	1	1	4

▲ 出力後ファイル例

	A	B	C	D	E	F	G	H	I
1	登録済ID	希望ID	氏名	表示名	パスワード	状態	学年	クラス	出席番号
2	20220005	1nen1005	じどう5	じどう5		1	1	1	1
3	20220006	1nen1006	じどう6	じどう6		1	1	1	3
4	20220007	1nen1007	じどう7	じどう7		1	1	1	4

▲ 編集ファイル例

【ログインIDを編集する】

A列「登録済ID」はそのまま編集せず、
B列「希望ID」に任意のID (半角小文字英数字 4~40文字) を入力します。

【パスワードを編集する】

新しいパスワード
(半角英数字 8~20文字) を入力
します。



児童生徒アカウントの新規作成や、氏名/表示名/学年/クラス/出席番号/状態の編集は、eライブラリ側ではできません。新規作成・編集したい場合は、C4th側で行ってください。

3.4 児童生徒による編集制限を設定する

児童生徒メニューから自分でパスワード情報を編集できる項目があるため、学校側で編集の許可／不許可を設定します。

収録場所
【先生メニュー】
▶【eライブラリの設定】

児童生徒は、児童生徒メニューから、パスワードを編集できます。

パスワード編集の許可・不許可を先生メニューで設定できます。どの先生アカウントでも設定可能です。学校の運用に合わせて設定を行ってください。

- ① 先生メニュー → [eライブラリの設定] を選びます。
- ② [クラス/児童・生徒の設定] → [児童・生徒による編集制限] を選びます。
- ③ [許可する] または [許可しない] を選びます。
- ④ [設定] を選びます。

項目説明

初期設定は「許可する」に設定されています。

▲児童・生徒による編集制限



保護者サービスが[使用する]の場合、パスワードの編集[許可しない]はグレーアウトされます。

3.5 IDカードを印刷する

登録した児童生徒アカウントの氏名／ログインID／パスワードを記載した「IDカード」を印刷できます。

収録場所
【先生メニュー】
▶【eライブラリの設定】

- ① 先生メニュー → [eライブラリの設定] を選びます。
- ② [IDカード印刷] を選びます。
- ③ 印刷する[学年][クラス]を選びます。
- ④ 表示する項目（パスワード／学年／切り取り線）を選びます。
- ⑤ [プリント] を選びます。

▲IDカード印刷



- eライブラリから直接印刷するには、端末にプリンターの設定がされている必要があります。
- お使いの端末でプリンターの設定がされていない場合、[プリント]からの印刷はできません。

3.6 SSO連携を設定する ※必要な学校のみ

Google Workspace連携 または Microsoft Azure連携の設定を行います。教育委員会や学校の方針をご確認の上、設定してください。

収録場所

【学校管理者メニュー】

▶【SSO連携の設定】

SSO(シングルサインオン)とは、ログインID・パスワードの入力をせずに、eライブラリにログインする方法です。ここでは、SSO(シングルサインオン)でeライブラリを利用するための、eライブラリアカウントとGoogleアカウント、またはMicrosoft Azureアカウントとの紐づけ設定の手順をご紹介します。

※SSO(シングルサインオン)は、専用URLからの接続になります。

Google Workspace for EducationおよびMicrosoft Azureに連携する手順書をご希望の際は、担当営業までご連絡ください。

- ① 学校管理者メニュー →[SSO連携の設定]を選びます。
- ② 自治体または学校で採用している連携設定を選びます。
 - ・ Google Workspace連携
 - ・ Microsoft Azure連携
- ③ [学校版 児童生徒との紐づけ]を選びます。
※先生の場合は[学校版 先生との紐づけ]

連携済	設定項目	説明
連携済	学校版・連携の設定	ライセンスライブラリ学校版とAzure連携の設定を行います
連携済	家庭版・連携の設定	ライセンスライブラリ家庭版とAzure連携の設定を行います
	学校版 先生との紐づけ	学校版先生アプリで先生アカウントをAzureと紐付けます
	学校版 児童生徒との紐づけ	学校版生徒アプリで生徒アカウントをAzureと紐付けます
	家庭版 先生との紐づけ	家庭版先生アプリで先生アカウントをAzureと紐付けます
	家庭版 児童生徒との紐づけ	家庭版生徒アプリで生徒アカウントをAzureと紐付けます

▲Google Workspace(Microsoft Azure)との連携設定

項目説明

【Google Workspace連携の設定】

Googleアカウントご利用の場合

【Microsoft Azure連携の設定】

Microsoft Azureアカウントご利用の場合

⚠ 学校版/家庭版、先生用/児童生徒用、それぞれ設定が分かれていますので、ご注意ください。

紐づけを設定する

紐づけ設定は、すべて同じ手順です。

【学校版 先生との紐づけ】 【学校版 児童生徒との紐づけ】

【家庭版 先生との紐づけ】 【家庭版 児童生徒との紐づけ】

- ④ [学年][クラス]を選びます。
- ⑤ 紐づけ設定するアカウントを選びます。
- ⑥ [Googleアカウント]または[Azureアカウント]欄に、児童生徒が利用するアカウントを入力します。
- ⑦ [変更]を選びます。

ID	20240001
氏名	児童01
表示名	じどう01
状態	使用中
Googleアカウント	google@xxxx.ne.jp

▲生徒の変更

⚠ 別のアカウントでログインし、ログアウトできない場合は、正しいアカウントに設定しなおします。
● 転入があった場合も、紐づけを設定してください。

SSO連携の紐づけ設定は、児童生徒・先生が自分で行うこともできます

紐づけ設定されていない(未設定)状態で、SSO専用URLに接続するとログイン画面が表示されます。

学校コード・ログインID・パスワードを入力してログインすると、自動で紐づけ設定が行われ、次回からSSO(シングルサインオン)できるようになります。

違うログインIDなどでログインしてしまった場合は、上記の手順で正しい紐づけを設定してください。

3.7 ログイン方式を設定する (SSO連携しない場合のみ)

eライブラリログイン画面で、学校コードの入力を省略できます。
ログイン方式を変更したい場合は教育委員会の方針をご確認ください。

収録場所

- 【学校管理者メニュー】
- ▶ 【学校情報・ログイン方式】
- ▶ 【ログイン方式の設定】

- ① 学校管理者メニュー → [学校情報・ログイン方式] を選びます。
- ② [ログイン方式の設定]を選びます。



▲学校情報の設定

学校コード入力方式

「学校コード入力方式」は、初期値です。“学校コード入力方式”とは、下記のURLへ接続し、学校コード・ログインID・パスワードを入力してログインする基本のログイン方法です。

📁 児童生徒 接続先URL

【学校版】 <https://ela.education.ne.jp/students>



▲児童生徒 ログイン画面

学校コード省略方式

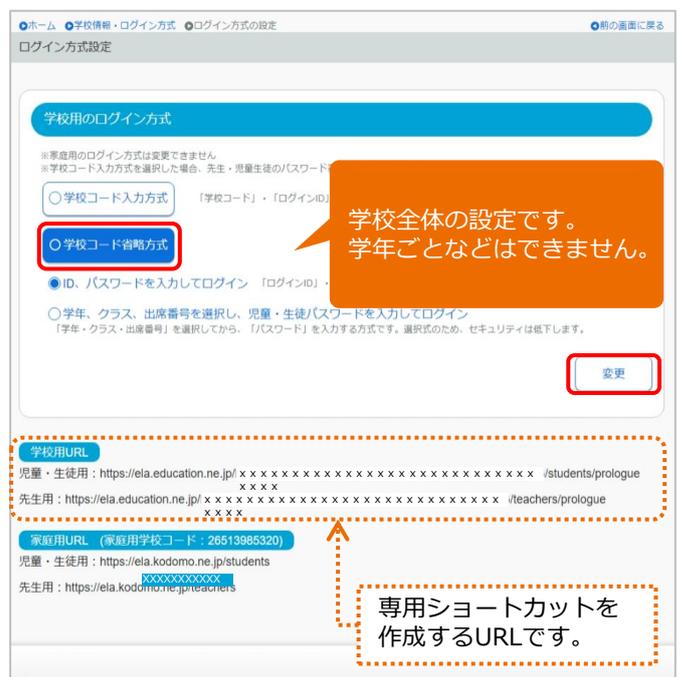
「学校コード省略方式」は、必ず**専用のショートカット**から接続します。（学校ごとにURLは違います。）
なお、家庭版はこの省略方式は利用できません。

- ③ [学校コード省略方式]を選びます。
- ④ [ID・パスワードを入力してログイン]または [学年・クラス/出席番号/パスワードを入力してログイン]を選びます。
- ⑤ [変更]を選びます。

📁 ショートカットの作成手順

- ① 表示されたURLに接続します。
- ② [ショートカットアイコンを作る画面に移ります]を選びます。
- ③ [この画面のショートカットを作成してください]が表示されます。
- ④ この画面のURLでショートカットを作成します。

詳細は、先生サポートサイト掲載の**スタートアップガイド**をご覧ください。



専用ショートカットを作成するURLです。

▲ログイン方式設定

【Memo】

